

磯城(しき)島の大和の国

大陸王朝の国史につながる『日本書紀』神代紀・神武天皇紀

『日本書紀』と『魏志倭人伝』、驚異の一致とは？

従来の歴史学者が指摘してこなかった観点にも切り込んだ、日本古代史における考察の数々。

十五年にわたる様々な解明を一挙にまとめあげた、著者の集大成的一冊。

一万六千年前、日本列島に進出した縄文人の祖先から説き起こし、弥生時代と神代を経て大和朝廷へと至る道筋を、多岐にわたる史料を渉猟してたどる。

史料は大陸の通貨、鏡、銅鐸の原型などの移入に関するもの、大陸の史書『史記』『山海（せんがい）経』『前漢書王莽（おうもう）伝』『後漢書』『三国志魏書倭人伝』（『魏志倭人伝』）および百済王から倭国へ贈られた「七枝刀（しちしとう）」、朝鮮半島の『三国史記』（高句麗本紀・百濟本紀・新羅本紀・列伝）と、高句麗の「広開土王（こうかいどおう）碑」等。

さらに、『古事記』『日本書紀』『風土記』をはじめ『先代旧事本紀』などから浮かび上がってきた、日本の古代の年代、暦の解明にも挑戦した。約一千年にわたる我が国の歴史を通観するため、年代をキーワードにまとめているなかで、著者がとりわけ問題とするのは神武天皇と磯城（しき）家との関係である。

そして、もう一つ重大なことは、『日本書紀』の神武天皇紀に記される大和平定の記事と、『魏志倭人伝』が伝える卑弥呼（天照大神）の治世の最後の記事とが一致していることだ。

これらから蘇る古代の「大和」の姿とは――。



著者紹介

大平裕（おおひらひろし）

1939年東京都出身。慶應義塾大学法学部卒業後、古河電気工業株式会社入社。同社海外事業部第一営業部長、監査役、常任監査役を経て2001年に退社。現在は、公益財団法人大平正芳記念財団の理事を務める。

著書に『日本古代史 正解』『日本古代史 正解 纏向時代編』『日本古代史 正解 渡海編』（以上、講談社）、『知っていますか、任那日本府』『天照大神は卑弥呼だった』『卑弥呼以前の倭国五〇〇年』『暦で読み解く古代天皇の謎』（以上、PHP研究所）、『古代史「空白の百五十年間」の謎を解く』『「倭の五王」の謎を解く』『白村江』（ともにPHPエディターズ・グループ）など多数。

貴店印・帳合

ご注文数

磯城島の大和の国

大陸王朝の国史につながる『日本書紀』神代紀・神武天皇紀

大平裕/著

定価：1,760円(10%税込)

ISBN978-4-910739-61-8

発売日：2024年10月17日

四六判上製/332頁/C0021

ご担当

様

冊

PHPエディターズ・グループ

発行

PHPエディターズ・グループ

〒135-0061
東京都江東区豊洲5-6-52 11階
☎ 03-6204-2931
FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い
すべての取次への出荷が可能です。